

昭和大学附属烏山病院だより

あおぞら

〔発行責任者〕病 院 長 真田 建史

〔編集責任者〕広報委員長 真田 建史

〔住所〕〒157-8577 東京都世田谷区北烏山6-11-11

〔電話〕03-3300-5231(代表)

第202号

〔2024年6月1日発〕

広報誌『あおぞら』は2024年6月号より、発行日を毎月1日に変更いたします。
今後ともご愛読のほどよろしくお願いいたします。

烏山病院の障害者雇用について

烏山病院では障害を持っている方が事務課、リハビリ部門、発達障害医療研究所などで活躍しています。烏山病院で積極的に障害雇用の取り組みを始めたのは、2010年くらいからになります。デイケアに通所しているメンバーを昭和大学の職員として採用し始めました。当時は、特に発達障害について今ほど認識も広まっていなかったですし就労事例も少なかったので職員の不安はありました。しかし、一緒に働くことでその不安はすぐに払拭され、今は欠かせない存在です。

障害を持つ職員にインタビューしてみました。ぜひお読みください。

名前 K・H

診断名 ASD(自閉症スペクトラム症)、ADHD(注意欠如多動症)

配属先 リハビリテーションセンター

主な業務

デイケアのプログラム(パソコンや発達障害専門プログラム)の運営



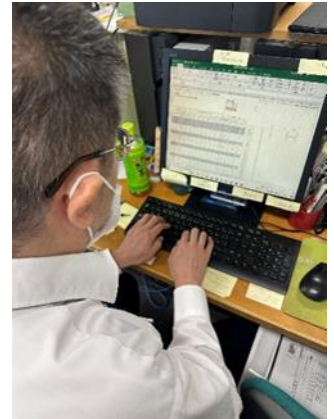
Q1 仕事を始めた当初、どんな不安がありましたか

9年前のことにもうなりますが、前の会社をやめてから時間がたっていたので体力的にも精神的にも不安でした。パソコンスキルに自信がなかったので、どこまで求められるか不安でした。パソコンについては業務をとおして勉強したり自分でも勉強したりしました。そんな大したことではないですけど・・・笑 EXCELは少し自信があるけど、ほかはまだですね。

Q2 大変なことややりがいについて教えてください

大変なことは、臨機応変な対応に苦手さがあるのでジレンマを感じることがあります。抱え込むこともあるけど、相談しながら対処しています。相談乗ってもらえるのは助かっています。

やりがいは、感謝をされると有難いと思い、やる気が出ます。スタッフの方やデイケアメンバーさんから「ありがとう」といわれると嬉しいです。今後は自分のスキルをさらに生かして働きたいと思います。



同僚から一言 花田作業療法士

一緒にデイケアでプログラムを行っています。いつも相談しながらやっているのも、とても頼りになっています。安心してプログラムを行うことができています。

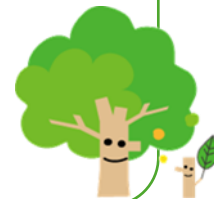
名前 O・A

診断名 ASD(自閉症スペクトラム症)

配属先 発達障害医療研究所

主な業務

一般事務、成人発達障害支援学会事務局業務(HP 管理、広報等)



Q1 仕事を始めた当初、どんな不安がありましたか

前職の仕事を辞めてからブランクがあったこと、対人のコミュニケーションが苦手なことなどが不安でしたが、周囲のサポートもあり、現在はそれらの不安はだいぶ軽減されております。

Q2 大変なことややりがいについて教えてください

医療・研究施設には専門職の方が多く、それらの仕事を全て手伝うことは非常に難しいと感じます。しかしその中で専門知識が無くとも自分が出来る範囲の業務を見つけ、適宜指示を仰ぎながらこなせるよう努めています。また日々学べる事柄も多く、それらが自分のやりがいに繋がっていると思います。



同僚から一言 横井心理士

専門知識がないと上で話されていますが、O・Aさんにしかできない仕事を担ってくださりなくてはならない存在です。成人発達障害支援学会の事務局業務では、成人発達障害支援の広がりの一翼を担ってくださっています。大山さんが作成しメンテナンスしてくださっている学会ホームページをぜひ覗いてみてください。

成人発達障害支援学会 HP <https://square.umin.ac.jp/skrc/>



名前 K・S
診断名 統合失調症
配属先 事務課管理係
主な業務
経理補助



Q1 仕事を始めた当初、どんな不安がありましたか

ブランクが長かったので業務についていけるかどうか心配でした。

Q2 大変なことややりがいについて教えてください

数字がピッタリ合うと、ちょっとホッとします。



同僚から一言

K・Sさんとは一緒に仕事をさせていただいて5年になりますが、いつも仕事が丁寧で細かい事に気がつき、どんな仕事も嫌な顔をしないで取り組む姿勢は周囲の信頼を集めています。とても頼りにしています。

障害者雇用は、障害者雇用促進法に基づいた事業主に対する義務※です。

雇用の場を提供するという社会的な義務はもちろん大切ですが、烏山病院では障害を持っている職員も個性や長所を生かし、よりよい医療の提供ができることを目指しています。烏山病院の障害者雇用から、関連病院（旗の台・歯科病院・横浜北部病院）や他企業にステップアップした方も多くいます。また職員の活躍をご報告させていただける機会があれば幸いです。

※障害者雇用促進法において、事業主は、雇用している労働者に占める障害者の割合を「法定雇用率」以上としなければなりません。令和6年4月より雇用率は2.3%から2.5%に引き上げられています。



デイケア紹介

夏の始まりを感じる季節となってまいりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

いつもはデイケアのメンバー（患者さん）さんに記事を書いて頂いていますが、今回はスタッフが書いております。

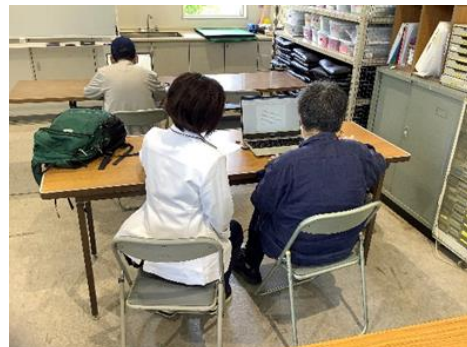
普段、メンバーさんが書いている記事はプログラムの一つである『委員会活動』の広報・環境委員会で作成しています。デイケアのお知らせを作成したり、クリップボードを拭いたりしています。

あおぞらの記事作成は文章を書くのが好きという方はもちろん、苦手な方も取り組んで下さっています。苦手な方は他のメンバーにインタビューして記事にするなどの工夫をされています。他にも時間管理を意識したり、コミュニケーションを図ったりと就労や今後の生活に必要なことの練習として取り組まれています。

あおぞらを読まれている方で、デイケアに参加してみたい！という方がいらっしゃれば、烏山病院の主治医に相談していただければと思います。委員会活動のみならず様々なプログラム、メンバー、スタッフがお待ちしています。次の記事を書くのはあなたかも!!お待ちしております。

デイケアホームページ(日々の活動やプログラム表を掲載しています)

<https://square.umin.ac.jp/skrc/>



↑あおぞら 5月号絶賛作成中の様子



総合サポートセンター

～受診・入院のご相談～

受付：月曜日～金曜日・8時30分～17時
土曜日 8時30分～13時
電話：月曜日～金曜日 03-3300-5329
土曜日 03-3300-5231
◎初診受付：月曜日～金曜日・8時30分～14時
土曜日 8時30分～12時
◎休診日：日曜日・本学創立記念日・年末年始

《4月》 入院(前月) 外来(前月)

◆延患者数 8,442(8,687) 6,788(6,542)

◇一日平均患者数 281.4(280.2) 271.5(261.7)

◆診療実日数 30(31) 25(25)

広報委員会では、皆様のご意見ご感想をお待ちしております。連絡先は k-kouhou@ofc.showa-u.ac.jp となります。

こちら当院のホームページのQRコードとなります。ぜひご覧ください。



【編集後記】

今年度より広報委員になりました、A3病棟の西田です。初めての編集後記当番となり少し緊張しております。

あっという間に今年の半分が過ぎ去ろうとしています。五月病から抜け出したと思いきや、じめじめとした6月がやってきました。梅雨を楽しく乗り越えるためにビニール傘を辞めようと思いついて今日この頃です(笑)みなさまは梅雨時期をどう乗り越えますか？



(広報委員 西田)